

医療機関は消費税を自己負担 医療崩壊を加速

佐々木憲昭衆院議員は6日、社会保障・税特別委員会で、医療機関が消費税を自己負担せざるを得ない欠陥を明らかにし、消費税増税は医療崩壊を加速させると指摘。増税法案の撤回を迫りました。

佐々木氏は医療費は消費税が非課税だが、医療機器や薬剤の購入などに消費税がかかり、医療機関が自己負担せざるを得なくなっているとのべ、日本医師会や保険医協会が「多額の損税が発生している」と指摘し

ていることを紹介し、対策をた
だしました。

これにたいし、小宮山厚労相
は「診療報酬で手当てしている
が、すべてではない」とのべ、
日本医師会の試算で損税が2
330億円にのぼることを明
らかにしました。

佐々木氏が「医療機関の経営
は深刻な実態だ。全額を国が補
てんすべきだ」と追及。小宮山
大臣は「赤字の医療施設は民間
病院の28%、民間診療所の
31%」と認めながら、「どれだ

け診療報酬でカバーできるか
検討する」と繰り返すだけでし
た。安住財務相は「設備投資を
しなければ（消費税負担は）か
からない」などと無責任な答
弁。負担した消費税分を還付金
として返金するゼロ税率の導
入についても「考えてない」と
答えました。

佐々木氏は「消費税を増税し
て医療機関をつぶして当然だ
という姿勢は絶対に認められ
ない」とのべ、消費税増税を撤
回せよと迫りました。

子ども手当減額・消費税増税が子育て世代直撃

佐々木憲昭衆院議員は1日、
社会保障・税特別委員会で、民
主党政権による子育て世代に
対する負担増を告発しました。

佐々木氏は20歳代・30歳代
の子育て世代の所得が大幅に
減少していると指摘。それな
るに民自公3党合意で、子ども手
当を減額、年少扶養控除廃止し
たため、年収400万円台中ご
ろから、子育て世帯の実質手取
り額がマイナスになるとのべ、
「これでどうして抜本的拡充
といえるのか」とただしまし
た。

小宮山厚労相は「約束と違
うのは申し訳ない」とのべまし
た。

また、佐々木氏は「民主党の
『すべての子育て世代の負担
を軽減』という政策目的は破綻
した。子育て世帯のマイナスを
なくすには、8千億円あればで



きるのに
それをや
らず、逆
大企業に
は8千億
円の法人

税減税だ。子育て世代の負担を
増やす一方で大企業には減税
をするのは逆立ちだ」と批判し
ました。

また、佐々木氏の「復興増税
と消費税増税を押し付ける」と
の質問にたいし、安住財務相

は、子育て世代（小学生1人）
の合計負担増が年収300万
円で年8万円、年収500万円
で年12万円になると答弁。
佐々木氏は「結局、経済的な
負担増だけが残った」と批判し
ました。

復興願って毎月バザー ネット連絡会の発言から

静岡・沼津今沢後援会

「しんぶん赤旗」日刊紙の5月11
日付（地方版）で「復興願って毎
月バザー」の記事が掲載されまし
た。実は2年前から行っています。

斎藤孝一前市議が中心地に自宅兼
事務所を建てたので、「事務所に地
域の方が気軽に来れるようにしま
い」とバザールを開くことにしま
した。スーパ―が撤退して、特に
高齢者から好評だったため、それ
じゃ毎月やろうと。売上げを自然
災害へのお見舞金として送ってき
ました。そんななかで東日本大震
災があり、支援を訴えたら、いろ
んな物資が届けられ、これまでに
45万円を中央委員会を通じて被災
地に届けました。共産党だから安
心との声もいただきました。高齢

者が多くて準備も大変ですが、楽
しみにしてくれる方の顔を思い浮
かべ、被災地のためにと続けてい
ます。

新しいつながりもできました。
私の自治会である集まりでリーダ
ー格の人が自分の服を見せて、「日
本共産党さんのバザールで買った
のよ」と自慢してくれました。バ
ザールではサツマイモや甘酒を振
舞ったり、いっぱい買ってくれた
高齢者には乳母車を自宅まで押し
てあげます。消費税増税反対や浜
岡原発永久停止の署名ブースも作
っております。

私たち自身が元気にがんばり、
政治をしっかりとついで活動する
ことが、国政選挙で勝ち抜く力に
なると確信しています。